

ドキュメンタリー

ピュア

軍事政権が続くアジアの国ビルマ。

今年九月、隣国タイにあるメラ難民キャンプから、

第三国定住として初めて三家族十八人が到着しました。

ビルマで今、いったい何が起きているのか、

難民キャンプの人々がおかれている状況とは、

そして、これから日本の難民受け入れはどうなっていくのか、

ドキュメンタリー『ピュア』の制作者であり、

自らもビルマ政治難民であるココラットさんを

お招きし、ともに学ぶ機会をもちたいと思います。



メラウー難民キャンプ
Photo: Takema 2010



上映と講演

11月13日(土曜日) 18:40-21:00 (18:20開場)

キャンパスプラザ京都 第一講義室

京都市下京区西洞院通塩小路下る 京都駅西側ビックカメラ前 < 一般参加費 500円 / 学生無料 >

主催 メラウーキャンプ教育支援の会・SCDB

共催 アムネスティ京都グループ・ピースムーブメント実行委員会

問合せ先 メラウーキャンプ教育支援の会-京都 (uri@m6.gyao.ne.jp)



45分 **ドキュメンタリー『ピュア』上映**

35分 **講演 ココラット 『ビルマの未来、ミャンマーの未来』(SCDB代表)**

15分 **休憩**

25分 **講演 竹間優美子 『日本の難民受け入れの現状』(立命館大学・関西外国語大学講師)**

20分 **質疑応答**

ビルマ国内で苦しんでいる国民、外国で生活するビルマ難民。

彼らにとっての「国」とその未来は…。

ビルマ軍事政権が推し進める国策。

軍政にとっての「国」とその未来とは…。(ココラット)

ココラット: 1988年からビルマの民主化運動に加わる。元全ビルマ高校学生連盟書記長。1990年の総選挙の日、反政府活動を理由に逮捕された。釈放後も監視下に置かれたため、1991年タイ経由で日本へ逃れ、ビルマの民主化運動を続ける。2001年に政治難民に認定。現在、SCDB(ビルマ民主化支援会)代表として各地で講演や民主化運動を続けている。

